

# YMF G 未来共創ファンド

## 運用報告書（全体版）

第5期（決算日 2024年10月23日）

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2019年11月22日から、2044年10月21日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式等（上場予定を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。
運用方法	①わが国の金融商品取引所上場株式等の中から、山口フィナンシャルグループの地盤である山口県・広島県・福岡県の持続的な発展に寄与すると考えられる企業（以下「未来共創企業」といいます。）の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ) 未来共創企業の株式等を投資候補銘柄とします。 ロ) 投資候補銘柄の中から、成長性やバリュエーションを考慮し、投資魅力の高い銘柄を選定します。 ハ) 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。 ニ) 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。 ③株式以外の資産への投資は、原則として、信託財産総額の50%以下とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限は設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMF G 未来共創ファンド 愛称：ハピネス」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			TOPIX (配当込み)		株 式 組 入 率	投 資 証 券 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
(設定日) 2019年11月22日	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	% -	百万円 758
1 期末 (2020年10月23日)	11,046	0	10.5	9,844	△ 1.6	81.4	2.3	1,986
2 期末 (2021年10月25日)	12,643	0	14.5	12,339	25.4	87.2	2.2	2,758
3 期末 (2022年10月24日)	11,667	0	△ 7.7	11,984	△ 2.9	88.9	2.1	2,268
4 期末 (2023年10月23日)	13,010	0	11.5	14,582	21.7	91.5	2.1	1,877
5 期末 (2024年10月23日)	15,701	0	20.7	17,581	20.6	93.3	0.3	1,642

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIX (配当込み) は、同指数をもとに、当ファンド設定日を10,000としてワイエムアセットマネジメントが計算したものです。

## 当作成期中の基準価額と市況の推移

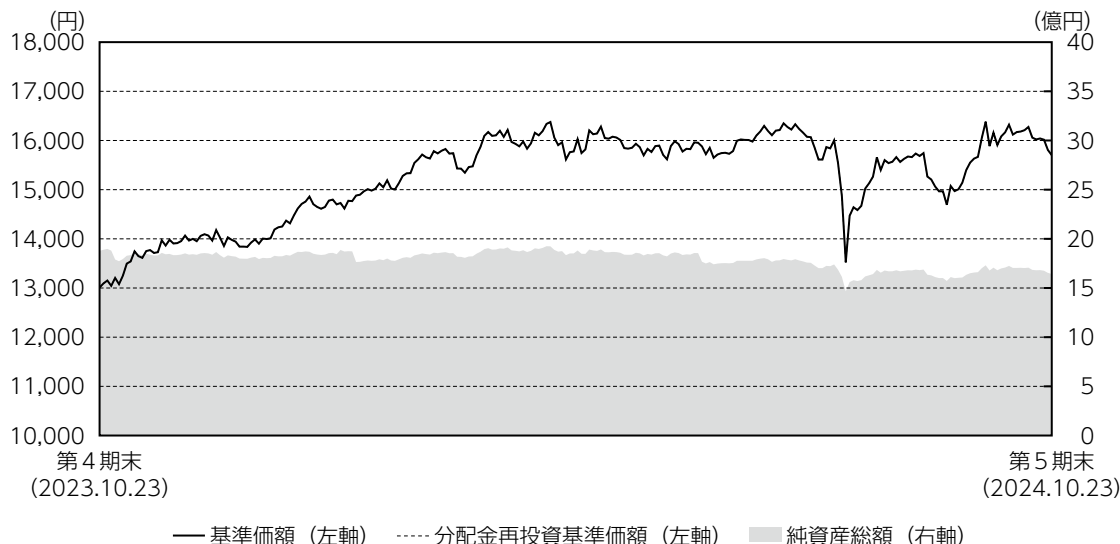
年 月 日	基 準 価 額		T O P I X (配当込み)		株 式 組 入 率 比	投 資 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期 首) 2023年10月23日	13,010	-	14,582	-	91.5	2.1
10月末	13,251	1.9	14,680	0.7	91.8	2.1
11月末	14,060	8.1	15,476	6.1	92.0	2.1
12月末	14,251	9.5	15,441	5.9	92.3	2.1
2024年 1 月末	14,880	14.4	16,647	14.2	91.4	1.6
2 月末	15,633	20.2	17,467	19.8	91.8	1.4
3 月末	16,215	24.6	18,242	25.1	92.6	1.9
4 月末	16,205	24.6	18,075	24.0	95.3	1.9
5 月末	15,887	22.1	18,284	25.4	90.9	1.5
6 月末	16,010	23.1	18,550	27.2	93.1	1.5
7 月末	16,003	23.0	18,449	26.5	89.7	1.5
8 月末	15,734	20.9	17,915	22.9	95.1	1.5
9 月末	15,885	22.1	17,641	21.0	97.6	1.0
(期 末) 2024年10月23日	15,701	20.7	17,581	20.6	93.3	0.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比

(注2) T O P I X (配当込み) は、同指数をもとに、当ファンド設定日を10,000としてワイエムアセットマネジメントが計算したものです。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

第5期首：13,010円

第5期末：15,701円（既払分配金0円）

騰落率：20.7%（分配金再投資ベース）

## 基準価額の主な変動要因

資本コストを意識した経営に向けた株主還元策の強化や新NISAを通じた個人投資家資金の株式市場への流入、堅調な企業業績などを背景に国内株式市況が上昇したことに加え、組み入れていた日立製作所や三菱重工業などの銘柄がプラスに寄与したことなどから基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 投資環境について

### ○国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

当作成期首より、欧米の金利低下や良好な企業決算、株主還元拡充の発表などが好感された一方、円高進行などが懸念され、レンジ内での推移となりました。2024年1月以降は、新NISA（少額投資非課税制度）を通じた資金流入や海外投資家による日本株投資の積極化、円安進行などが好感され、急上昇しました。3月下旬以降は、急ピッチでの上昇が一服し、景況感の悪化や市場予想を下回る企業業績の発表、国内長期金利の上昇、国内外の政治情勢の不透明感などが上値を抑え、高値圏での保ち合いとなりました。6月下旬以降は海外のAI（人工知能）関連企業の株価急騰や円安進行などが好感されて上昇しましたが、7月下旬から8月上旬にかけては、日銀の政策金利の引き上げ決定と米国の景気後退懸念の浮上を受けた円高への転換や、中東情勢の悪化を受けて、大幅に下落しました。その後は、日銀の緩和的な政策が維持されること、米国景気も緩やかな減速に留まるとの認識が市場に広まったことなどから、値を戻す展開となりました。9月下旬以降はFOMC（連邦公開市場委員会）にて0.5%の大幅な利下げが決定されたことを受けて、米国景気のソフトランディング期待の高まりから堅調推移した一方、日米の政局不透明感が上値を抑える展開となり、当作成期末を迎えました。

## ポートフォリオについて

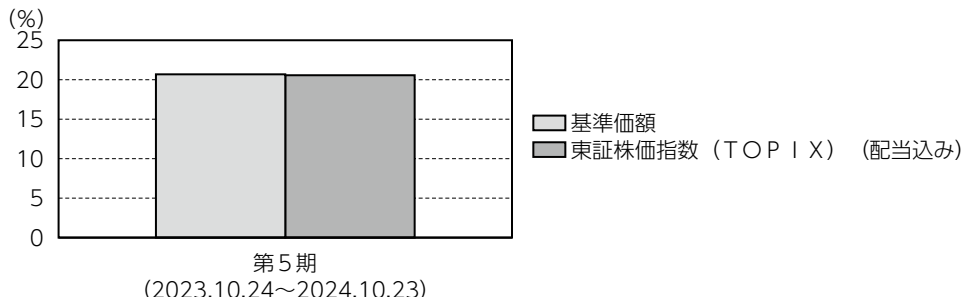
### ○当ファンド

- ・株式組入比率（リートを含む）に関しては、概ね91～99%程度で推移させました。
- ・業種構成では、電気機器や機械の組入比率を引き上げた一方で、化学やサービス業などは前期より組入比率を引き下げました。
- ・個別銘柄では、比較的堅調な業績推移が期待できるトヨタ自動車や丸紅、ファーストリテイリングなどの銘柄を新規に組み入れたほか、日立製作所の組入比率を引き上げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（TOPIX（配当込み））との騰落率の対比です。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益については、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	単位	当期
		2023年10月24日 ～2024年10月23日
当期分配金（税込み）	（円）	0
対基準価額比率	（％）	0.00
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5,700

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

米国新政権による関税引き上げの通商政策がグローバル経済に与える影響には注意が必要です。しかし、米国景気の下振れリスクが後退しつつある中、F R B（米国連邦準備理事会）は緩やかに利下げを進めていくと見込まれ、国内株式市場にとってもプラスに働くと想定されます。また、資本コストを意識した経営に向けた株主還元策の強化や新N I S Aを通じた個人投資家資金の株式市場への流入が引き続き期待でき、中長期的には堅調な株価推移を想定します。

個別銘柄の選定にあたりましては、引き続き、投資候補銘柄（山口県・広島県・福岡県の持続的な発展に寄与すると考えられる企業）の中から、優れたビジネスモデルを持ちながら株価に割安感のある企業や高い競争力や技術力を背景に堅調な業績が期待できる企業に注目します。リスク管理に留意しつつ、中長期的な企業価値の向上に着目した銘柄の調査・選別に注力していく方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第 5 期		項 目 の 概 要
	(2023年10月24日～2024年10月23日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	168円	1.100%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 <b>期中の平均基準価額は15,282円です。</b>
（投信会社）	(81)	(0.528)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(81)	(0.528)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(7)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	64	0.421	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(64)	(0.416)	
（投資証券）	(1)	(0.004)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.011	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.011)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	234	1.532	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

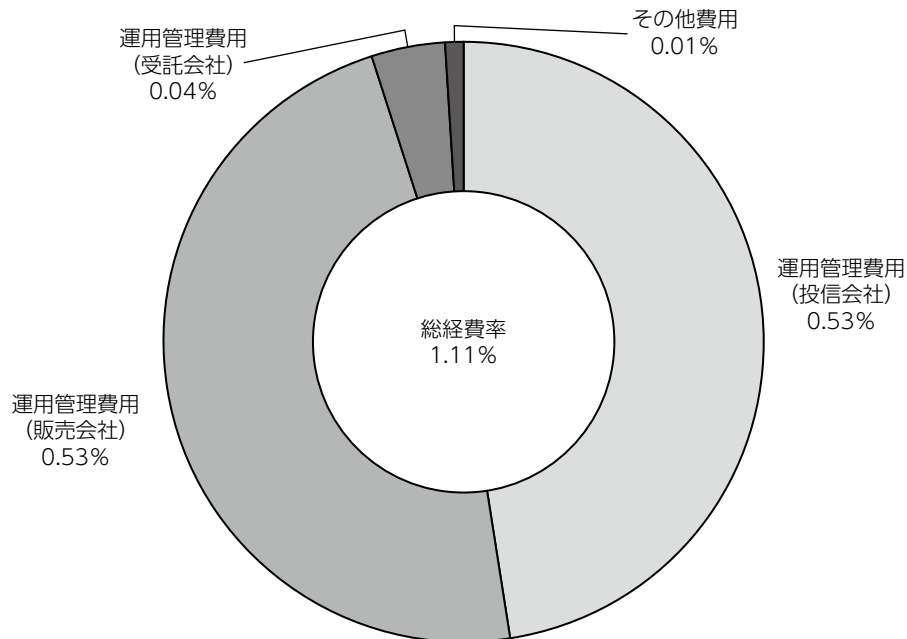
(注4) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## (1) 株 式

(2023年10月24日から2024年10月23日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
	千株	千円	千株	千円
国内	623.2 (145.8)	2,019,776 (-)	833.2	2,527,657

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年10月24日から2024年10月23日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,547,434千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,670,485千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.72

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## (2) 投資証券

(2023年10月24日から2024年10月23日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
国内	0.05 (-)	8,340 (-)	0.255 (-)	40,322 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 株 式

(2023年10月24日から2024年10月23日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
トヨタ自動車		54.4	172,952	3,179	ディスコ		3.3	158,760	48,109
ディスコ		3.2	143,702	44,907	ローツェ		14.5	136,449	9,410
ローツェ		8	82,535	10,316	三菱重工業		64.6	111,553	1,726
丸紅		33.4	82,208	2,461	エフピコ		38.1	106,356	2,791
ファーストリテイリング		2	82,065	41,032	テルモ		24.4	101,786	4,171
安川電機		15.3	79,293	5,182	コスモス薬品		6.6	99,962	15,145
ユニ・チャーム		11.6	57,842	4,986	黒崎播磨		27.1	99,782	3,682
日清食品ホールディングス		12.5	54,739	4,379	日清食品ホールディングス		21.2	98,877	4,664
キリンホールディングス		24.5	53,300	2,175	ユニ・チャーム		18.5	93,750	5,067
小松製作所		11.2	51,303	4,580	日立製作所		8	90,554	11,319

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## (1) 国内株式

銘柄	前期末		当期末		銘柄	前期末		当期末		銘柄	前期末		当期末	
	株数	株数	株数	株数		株数	株数	株数	株数		株数	株数	株数	株数
		千株		千株			千株		千株			千株		千株
				千円					千円					千円
<b>水産・農林業 (1.1%)</b>					<b>機械 (13.2%)</b>					<b>卸売業 (3.6%)</b>				
マルハニチロ	—	5.6	16,657		小池酸素工業	—	0.1	601		リックス	8.3	—	—	
<b>建設業 (4.7%)</b>					ディスコ	1.1	1	37,680		丸紅	—	23.7	55,860	
エムビーエス	51.2	10	6,910		やまびこ	4	7.7	19,096		<b>小売業 (6.7%)</b>				
ウエストホールディングス	—	2.7	5,818		小松製作所	—	8.4	33,322		MonotaRO	27.5	6.8	15,612	
積水ハウス	12	6.7	24,830		ローツェ	2.8	11.6	23,884		コスモス薬品	6	3.6	27,014	
九電工	8.5	5	29,900		ダイキン工業	—	1.7	30,957		カの源ホールディングス	—	3.5	3,874	
三晃金属工業	1.5	1.2	4,752		三菱重工業	7.6	27.3	57,193		ファーストリテイリング	—	1.1	55,627	
<b>食料品 (5.6%)</b>					<b>電気機器 (15.3%)</b>					<b>保険業 (1.8%)</b>				
カルビー	4.6	6.9	23,363		日立製作所	9.7	26	101,296		アコムホールディングス	—	41	27,429	
キリンホールディングス	—	15	34,095		安川電機	—	7.5	31,800		<b>サービス業 (1.4%)</b>				
やまみ	—	3.3	13,695		オムロン	—	2.8	16,870		カカクコム	34	—	—	
日清食品ホールディングス	5	3.5	14,087		ホーチキ	—	12.9	27,064		シーティーエス	52	23.9	21,581	
<b>繊維製品 (-)</b>					エレコム	33	—	—		エラン	26	—	—	
自重堂	0.1	—	—		日本トリム	—	5	17,325		テノホールディングス	2	—	—	
<b>パルプ・紙 (-)</b>					堀場製作所	—	0.5	4,571		ユービーアール	19.2	—	—	
大石産業	0.7	—	—		アドバンテスト	—	1.3	10,232		建設技術研究所	6	—	—	
<b>化学 (8.8%)</b>					ローム	—	15	25,110		<b>合計</b>	千株	千株	千円	
日産化学	12.2	5.2	27,279		<b>輸送用機器 (9.4%)</b>					株数・金額	642.4	578.2	1,532,570	
東ソー	40	4.4	8,329		トヨタ自動車	—	32.4	84,904		銘柄数<比率>	46銘柄	61銘柄	<93.3%>	
日本ゼオン	12	—	—		マツダ	7	15.5	16,422						
UBE	—	6	15,279		ヤマハ発動機	—	20	25,830		(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。				
旭有機材	—	0.9	3,627		シマノ	4.2	0.7	16,401		(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。				
ダイキョーニシカワ	16	12.6	7,950		<b>精密機器 (4.7%)</b>					(注3) 評価額の単位未満は切捨て。				
日東電工	2.2	4	9,712		テルモ	23	25	72,162						
エフピコ	35	10.9	29,097		<b>その他製品 (1.6%)</b>									
ユニ・チャーム	14	7.1	34,307		前田工業	—	13.6	23,854						
<b>医薬品 (4.6%)</b>					<b>陸運業 (3.5%)</b>									
協和キリン	7.5	3.3	8,433		山九	13	4.5	21,460						
武田薬品工業	15	14.6	61,889		九州旅客鉄道	6	8	31,520						
<b>石油・石炭製品 (1.3%)</b>					<b>空運業 (0.1%)</b>									
出光興産	4	18.7	19,270		スターフライヤー	1	0.6	1,518						
<b>ゴム製品 (3.9%)</b>					<b>情報・通信業 (6.1%)</b>									
ブリヂストン	15	10.5	59,199		コア	—	10.2	19,563						
西川ゴム工業	7	—	—		デジタルハーツホールディングス	15	—	—						
<b>ガラス・土石製品 (1.7%)</b>					S H I F T	—	1.2	17,766						
TOTO	—	1.7	8,020		e B A S E	50	18.5	11,599						
黒崎播磨	7.1	8.2	18,097		ラクス	—	10	20,140						
<b>鉄鋼 (1.1%)</b>					アイキューブドシステムズ	10.4	—	—						
日本製鉄	3	5.4	16,399		サイボウズ	—	12.2	24,424						

## (2) 国内投資証券

銘柄	期自(前期末)		当期末	
	口数	口数	口数	口数
福岡リート投資法人	千口	千口	千口	千口
	0.24	0.035	5.015	
<b>合計</b>	金	額	0.24	0.035
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<0.3%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年10月23日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	1,532,570	90.3
投資証券	5,015	0.3
コール・ローン等、その他	160,441	9.4
投資信託財産総額	1,698,026	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月23日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	1,698,026,722円
コール・ローン等	107,861,911
株式(評価額)	1,532,570,100
投資証券(評価額)	5,015,500
未収入金	39,204,611
未収配当金	13,374,600
(B) 負債	55,546,788
未払金	35,337,054
未払解約金	426,382
未払信託報酬	19,687,797
その他未払費用	95,555
(C) 純資産総額(A - B)	1,642,479,934
元本	1,046,126,697
次期繰越損益金	596,353,237
(D) 受益権総口数	1,046,126,697口
1万口当り基準価額(C/D)	15,701円

(注) 元本状況  
期首元本額  
追加設定元本額  
一部解約元本額

1,443,507,390円  
70,298,536円  
467,679,229円

## ■損益の状況

当期 自2023年10月24日 至2024年10月23日

項目	当 期
(A) 配当等収益	39,210,991円
受取配当金	39,191,215
受取利息	45,045
その他収益金	248
支払利息	△ 25,517
(B) 有価証券売買損益	248,210,235
売買益	433,370,083
売買損	△ 185,159,848
(C) 信託報酬等	△ 19,884,493
(D) 当期損益金(A + B + C)	267,536,733
(E) 前期繰越損益金	193,823,955
(F) 追加信託差損益金	134,992,549
(配当等相当額)	( 89,353,185)
(売買損益相当額)	( 45,639,364)
(G) 合計(D + E + F)	596,353,237
次期繰越損益金(G)	596,353,237
追加信託差損益金	134,992,549
(配当等相当額)	( 89,353,185)
(売買損益相当額)	( 45,639,364)
分配準備積立金	461,360,688

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。  
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	348,90円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,208.51円
(c) 収益調整金	1,290.40円
(d) 分配準備積立金	1,852.77円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,700.58円
(f) 1万口当り当期分配対象額	5,700.58円
(g) 分配金	0円
(h) 1万口当り分配金	0円

当ファンドは一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。当ファンドはNISAの成長投資枠(特定非課税管理勘定)の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。

## お知らせ

## ○信託期間の延長について

信託期間を延長し、信託期間終了日を2029年10月23日から2044年10月21日に変更しました。